

能楽奉納 厳かに

福山・沼名前神社 参拝客ら堪能

福山市鞆町後地、沼一流大島会(同市光南町)名前神社で3日、喜多による新春能楽祭が開



観客を幽玄の世界に引き込んだ「草紙洗小町」

かれた。初詣で客ら約50人が、豊臣秀吉が戦場で愛用したという国指定重要文化財の能舞台で繰り広げられる古典芸能を堪能した。

4代目の大島政允さん(67)が「草紙洗小町」で、新春ののどかさなどを伸びやかな舞で表現。大島輝久さん(33)は屋島の合戦での源義経の活躍を描いた「八島」を勇壮に舞った。大島衣恵さん(35)は天下太平などを願う「翁」を奉納した。

観客は笛や鼓の音色、独特の地謡に合わ

せて演じられる日本の幽玄の世界に魅了された様子。夫婦で訪れた同市神辺町西中条、掛谷ケイコさん(63)は「毎年楽しみ。能の厳かな雰囲気、背筋がすっと伸び、すがすがしい気持ちになった。新年の良いスタートがきれそう」と満足そうだった。(小泉潮)

10/01/04 山陽新聞

back